

「入学者の受入れに関する方針」(アドミッション・ポリシー)について

(交通システム工学科)

交通システム工学科は、1961年の創設以来、交通工学のパイオニアとして先進的な教育・研究により、快適で豊かな社会の創出に寄与してきました。交通は、人・物・情報の交流を支え、社会生活や経済活動に不可欠なシステムや施設などのインフラストラクチャー(社会基盤)として、日本にとどまらず世界でその重要性が認識されています。

本学科では、自然科学を基礎とする工学技術に加えて、人文及び社会学系の学問領域を含めた総合的な教育を行い、交通空間や交通施設の計画・設計・建設から運用・管理までの、より専門的で幅広い問題に対応できる「社会に貢献し、将来を担う交通技術者」の育成を目指しています。

本学科では、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1)本学科で必要な高等学校等における各種学習内容を幅広く理解している人
- (2)本学科で必要な工学の基礎学問である高等学校における数学, 理科について深く理解している人
- (3)各種活動を主体的かつ継続的に行うことができる人
- (4)自分の考えを的確に文章や言葉で表現し, コミュニケーションできる力を身に付けている人
- (5)国内外で起っている交通に関わる諸問題について日頃から関心を持ち, その問題解決のための論理的思考力を身に付けている人
- (6)先進的な交通技術に興味を持ち, それらを学び実務において展開・発展させたいと考えている人